

ふじかわぐちこ



富士山とラベンダーを
楽しむお客様

- こういうことを決めました 2P
- 議会議員研修報告 4P
- 一般質問 5P
- 委員会レポート 10P
- 窓・議会見聞録 16P

平成26年第2回定例議会

こういうことを
決めました!

福祉ゾーンに事務所・居宅介護施設を整備

平成26年第2回富士河口湖町議会定例会が6月10日に開会し、会期を17日までの8日間と決めました。渡邊凱保町長より次のとおり提出議案の概要説明がありました。

●本年度大規模となる旧山梨赤十字病院跡地に福祉ゾーン整備を進める。

●事業概要は町福祉協議会事務所とデイサービスセンターに通所介護・予防サービスのほか、※小規模多機能型居宅介護サービス機能を備えた施設を年度内に建設する。

●財源は施設の立地条件や利便性、各地区の人口及び資力を総合的に勘案した負担金を各財産区から繰出をし、国、県の交付金、合併特例事業債などを充てる。

●船津福祉センター改築は、町営芙蓉の湯改修工事と併せて年度内の完成を予定している。

●教育委員会関係について、河口湖南中学校改築工事は、既存特別教室棟、南側外構工事、給食棟建設工事を行う。

●県の施設である本栖湖青少年スポーツセンターは、平成28年4月1日に町へ無償譲渡をする基本協定を6月4日に締結した。

●西湖蝙蝠穴にクニマスを展示する施設を平成28年度当初までに併設する。

●富士北麓地区を「富士北麓世界遺産保全地区」として県が指定し、パネル面積1万㎡を超えるメガソーラーを建設する事業者に対して届け出制を義務づけた。

一般質問は、5人の議員が登壇し、財政、施設管理、道路、観光などを質問しました。

本定例会に提出された議案の内容は、平成25年度一般会計予算繰越明許費繰越報告1件、重度心身障害者医療費助成条例などの一部改正4件、西湖辺地に係る総合整備計画変更承認1件、船津財産区などの特別会計及び一般会計補正予算12件、足和田分団西湖部に配備する消防車の購入取得契約1件、財産区管理委員選任同意2件を審議、原案どおり可決、承認しました。

小規模多機能型居宅介護

※小規模多機能型居宅介護とは、「通い」を中心に「訪問」「泊まり」の3つのサービス形態が一体となり、24時間サービスを提供できます。認知症高齢者による利用が中心になります。利用定員は、1事業所あたりの登録定員25名以下、「通い」は1日当たり定員15名以下、「泊まり」は1日当たり定員9名以下の利用ができますが、登録者のみ利用できます。

●報告 (1件)

- ▼平成25年度富士河口湖町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について

●条例の一部改正 (4件)

- ▼富士河口湖町消防委員会条例の一部改正
- ▼精進・本栖財産区管理会条例の一部改正
- ▼富士河口湖町重度心身障害者医療費助成条例の一部改正
- ▼富士河口湖町手数料条例の一部改正

●計画変更承認 (1件)

- ▼富士河口湖町西湖辺地に係る総合整備計画変更承認について

●特別会計補正予算 (10件)

- ▼平成26年度船津財産区特別会計補正予算(第1号)
- ▼平成26年度小立財産区特別会計補正予算(第1号)
- ▼平成26年度大石財産区特別会計補正予算(第1号)
- ▼平成26年度河口財産区特別会計補正予算(第1号)
- ▼平成26年度勝山財産区特別会計補正予算(第1号)
- ▼平成26年度西湖財産区特別会計補正予算(第1号)
- ▼平成26年度大嵐財産区特別会計補正予算(第1号)
- ▼平成26年度富士河口湖町介護保険特別会計補正予算(第1号)
- ▼平成26年度上九一色簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
- ▼平成26年度本栖下水道事業特別会計補正予算(第1号)



デイサービスセンター内
特殊浴槽

●一般会計補正予算 (2件)

- ▼平成26年度富士河口湖町一般会計補正予算(第2号)
- ▼平成26年度富士河口湖町一般会計補正予算(第3号)

●委員の同意案件 (2件)

- ▼本栖財産区管理委員 伊藤幸雄 氏(本栖)
- ▼大室山外三十字恩賜県有財産保護財産区管理委員 伊藤幸雄 氏(本栖)

●組合議会議員の補欠選挙

- ▼鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合議会議員 渡辺文明 氏(大嵐)
- ▼河口湖南中学校組合議会議員 渡辺文明 氏(大嵐)

■第2回臨時議会

平成26年第2回臨時会が5月9日に開会し、条例の一部改正2件、専決処分の報告及び承認4件と2月の雪害によるカーブミラー、フェンスの修理として1,285万円、除雪作業における個人所有重機の修理に対する賠償金623万円、富士ヶ嶺バイオセンターメタン発酵施設液肥貯水槽屋根張替等821万円などの平成26年度一般会計補正予算(第1号)で審議し、原案どおり可決して同日閉会しました。

●専決処分の報告及び承認(4件)

- ▼富士河口湖町税条例等の一部改正
- ▼富士河口湖町国民健康保険税条例の一部改正
- ▼平成25年度富士河口湖町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
- ▼平成25年度富士河口湖町一般会計補正予算(第15号)
- ▼平成26年度富士河口湖町一般会計補正予算(第1号)

5月21日から23日まで行った鳥取県と島根県での研修のようすをご報告します。

議員視察 研修報告

鳥取県鳥取市
島根県安来市



鳥取市役所にて



安来市役所にて

寄付金額が前年度の10倍に— 鳥取市、島根県安来市の「ふるさと納税」の取り組み

「ふるさと納税」とは、その自治体のまちづくりに賛同する個人、団体から広く寄附金をつのり、それを財源として、地域振興や福祉向上などの事業をすすめる制度です。

鳥取市役所での研修は、「ふるさと納税」を平成20年度から始めて以来、ほぼ毎年、1000万円程度の寄附金額でしたが、平成25年度は1億2872万円になり約10倍増えたという説明がありました。

増えた理由としては、寄附者へのお礼の品数を増やし、人気の高い特産品を充実させたこと、寄附手続きを簡素化したことなどが大きいとのことでした。

寄附額が増え、市の税収増となったことは良かった反面、寄附者へのお礼の商品代が約5000万円かかり、職員の事務量も激増したなどの課題もあるそうです。しかし、この制度は、市の税収を増やし、全国に市をPRでき、地元業者の売り上げ増ともなることから、今後も推進していく方針だということでした。

島根県安来(やすぎ)市役所でも、平成25年度の寄附金額が、前年度の約2倍の2060万円に。ホームページを見やすくしたり、商品の内容を魅力あるものにしたことなどの努力が実を結んだとのことでした。

安来市は、10年前に合併した際には、4万5030人いた人口が4万1026人まで減少し、税収も減っ

ているなかで、財源の確保、地域活性化のために、「ふるさと納税」に力を入れていきたい、とのことでした。

2つの研修を通して、課題もあるものの「ふるさと納税」は、税収を増やし、地域活性化につながる魅力ある制度だということがわかりました。当町では、平成25年度の実績は寄附金額629万円です。課題をいかに解決し、税収増につなげていか、議会としても研究し、町に提言していきたいと思えます。

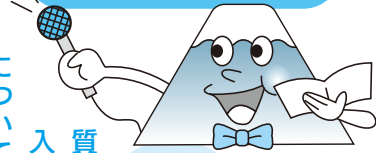
大手企業の誘致に成功— 鳥取市の企業誘致の取り組み

鳥取市役所では、企業誘致についても研修しました。鳥取市では、ここ数年、300人〜400人という大手企業の誘致に成功しているとの説明を受けました。市長のマニフェスト「いつまでも暮らしたい、だれもが暮らしたくなる鳥取市」という基本理念のもと、企業の立地、増設への支援に力を入れてきました。

企業誘致は、当町でも重要課題のひとつとなっており、大変参考になる研修でした。

知りたい!

聞きたい!



1 西湖いやしの里に指定 管理者制度の導入を

質問 この施設に指定管理者制度の導入を検討すべきだと思う。制度の導入について地元の西湖根場地区住民と、どのような話し合いがなされているか。

町長 今後の厳しい財政状況や、昨年度実施した西湖地区観光振興計画策定業務の事業報告などを考察した上で、指定管理が望ましいと考え、引き続き地域の皆さんと協議し、定期的なものも含め、地域の合意が得られる方法を見出していきたい。

2 西湖蝙蝠穴、野鳥の森公園 に指定管理者制度の導入を

質問 西湖蝙蝠穴、野鳥の森公園の運営状況と経営状況と指定管理者制度導入の状況と方針を伺う。

町長 西湖いやしの里同様の見地から、指定管理者制度が望ましいと考える。現在山梨県で、漁業振興を目的とするクニマス展示施設を蝙蝠穴管理施設に併設する計画がある。この施設の完成後、状況を見ながら地元の皆様と協議していきたい。

野鳥の森公園については、当該施設の拡充策や西湖周辺施設との包括的維持管理体制も勘案し、検討していきたい。

3 指定管理者制度を 河口湖ステラシアターに

質問 開館以来20年が経過し、その間実施し築いてきたイベントの継承もあり、指定管理者への移管にはいくつかの問題があると思うが、指定管理者制度の導入の考えは。

町長 五感文化構想を事業理念とし、町民文化の発展に寄与する目的で施設整備し、平成7年5月にオープンした。

佐渡裕氏監修、富士山河口湖音楽祭、皇太子殿下をお迎えした国民文化祭・吹奏楽、さまざまなジャンルのアーティストの演奏、町民文化の促進、全国に向けた文化の発信に大きな成果を遂げた。住民ボランティアであるサポーターズクラブの皆様のご協力に感謝している。今後の財政状況、地元経済効果、住民ボランティアの運営、地域に根差した活動を重視した中で、ステラシアター指定管理者募集要項を作成中である。



一般質問者
高山 泰治

4 河口湖美術館の運営状況は

質問 河口湖美術館は、ふるさと振興財団に管理委託しているが、運営状況と問題点を問う。

町長 財団では財団再生5カ年計画を作り、財団全体での不採算部門、収益部門がお互いに連携するなかで、各館ともそれぞれ館長に責任を持たせ、町からの財政支援を少なくする方向で取り組んでいる。

5 他の町有施設で指定管理者 制度を導入すべき施設は

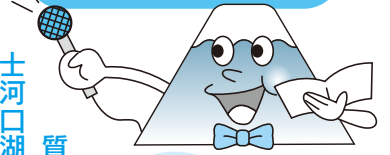
質問 他の市町村では、保育園までも指定管理者制度を採用している。学校以外の施設はすべて指定管理者制度を適用できると考えており、導入により本庁のスリム化が図られれば政支出の削減につながる。

政策財政課長 財政基本計画のアクションプランにあるように、民間事業者のノウハウを最大限活用し、経費削減に向け具体的な検討に入り、実現可能なところから積極的に導入を図っていきたい。

一般質問

知りたい!

聞きたい!



01 町民がこの地を 良き観光地として 誇れる施策を

質問 他の観光地で真似のできない富士河口湖町固有の自然を活かした行政を。今行っている各イベントを再度精査し無駄を省いた内容に。(「観光業者はいいなあ」と言う声も聞きます、業者が自立できるような施策も必要)

観光課長 ここにしかない自然を堪能して頂く施策・イベントも展開している。近年イベント補助予算も切り詰め実施している。また、希少動物や山野草の保護は重要なことと考えている。

質問 県道鳴沢富士河口湖線(小立のパーミヤン(勝山)を、観光客も地元住民もくつろげるウォーキングやイベントの出来る道路に再開発を。

町長 先を見た提言だと有難く頂戴したい。まずは地域住民の合意形成が必要、私も一緒に取組みたいと思う。

02 ふるさと納税のさらなる推進

質問 税収増を考えるなか、業者は地場産業の宣伝・町は税収アップ・寄付者は控除を受けられる、この三者が得する制度をさらに有効活用するべき。

政策財政課長 当町の地域振興につなげる施

一般質問



一般質問者
渡邊 美雄

03 町内における道路整備の 状況とその関連事項

策の一つとして提言も含め、積極的に有効活用を図っていききたい。

質問 道幅4m未満の狭い道路の対策と今後の対応は。

都市整備課長 地権者の協力をお願いしつつ(富士河口湖町狭隘道路拡幅整備に関する要綱)の制定に向け検討中。

質問 合併支援道路(船津小海線)に防犯灯も兼ねた街路灯設置は道路計画の中に盛り込むべきではないか。

都市整備課長 道路照明は安全性確保のため、基本は交差点部分に設置される。

04 土曜授業の拡大は

質問 ゆとり教育が始まり完全週5日制がスタートして約10年が経過、規則の改正により各自治体の教育委員会の判断で土曜授業が実施出来るようになったが、教育委員会としての考えは。

教育長 子ども達の毎日の学校生活は大変密度の濃いものになっている。教育委員会では学力向上のため、国の方針や全国的な傾向に気を留め研究してゆく。

質問 中立の立場で子ども達の将来を見すえ、予算も含め最良の施策を。

教育長 教育委員会や関係団体で議論を深めたい。場合によっては相応の財政負担をお願いすることも有る。



県道鳴沢富士河口湖線

1 県税事務所と連携して 差し押さえを強化

質問 第2次（平成26年度～28年度）アクションプランの内容を示せ。

税務課長 固定資産税のうち土地、家屋はGIS成果に基づき一筆調査の照合、また償却資産及び法人住民税は、未申告者の拾い出しを進め、法人の把握と課税を行った。

徴収は2名の嘱託職員で行っており、平成25年度実績は、現年度分3416万円、滞納分1674万円、合計5090万円である。

平成23年度から25年度までに差し押さえた件数347件、差し押さえ金額1億4645万円のうち、9121万円を税金として換価した。

平成26年度から28年度のアクションプランの目標は、28年度末で徴収率97・5%、累計滞納額4億円である。新規取り組みとして、3名以上の従業員がいる事業所を特別徴収義務者に指定した。結果は25年度と比較して納税者が1600人、金額は2億1000万円増えた。

再質問 例年と違う徴収方法はあるのか。

税務課長 総合県税事務所と協力し、差し押さえを強化していく。分納に応じない人に差し押さえ予告書を送付し、納入がない場合、自動車にタイヤロックをかけて車両を引き上げ、インターネットで公売も考えている。

質問 老朽配管の埋設工事計画と単年度決算で収支が安定する時期はいつか示せ。

水道課長 耐震化計画は、平成34年度を目標に、水源地から配水池までの基幹施設と、配水池から緊急時の拠点となる病院や避難施設への水の供給を確保するために水道施設の耐震化の重要路線として、延長28km、概算工事費22億円となっている。

耐震化計画に併せ財政シミュレーションにより、段階的に料金改正していくことで、平成34年度までに収益的収支バランスが安定する計画となっている。

再質問 災害に強い水道施設とする財源の一つである水道料の改定についての考えは。

町長 水道ビジョン、財政シミュレーション、耐震化計画により事業を進めている。今後、平成28年4月と平成31年4月に料金改定2回と耐震化工事を計画しているが、地域説明会で住民との合意をもとに取り組んでいく。



一般質問者
流石 恭史

一般質問

2 町で管理している トンネルと橋は健全



健全であると確認ができた寺崎隧道

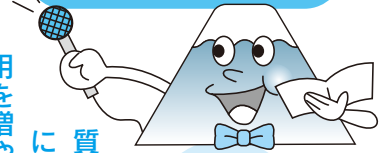
質問 舗装トンネル長寿命化計画、雨水排水対策長寿命化計画、橋梁長寿命化計画の進捗状況を示せ。

都市整備課長 トンネルは寺崎隧道が一つあるが健全な状態であることが判明したので、今後は継続的に近接目視及び打音検査委を実施する。

舗装は、町が管理している道路は、224キロであり、残り148キロを平成26年度で調査していく。町が管理している102橋梁を点検した結果、緊急対応が必要ないとわかった。

知りたい!

聞きたい!



Q1 誘致企業が正社員を増やすための支援を

質問 「若者が地元で働き、暮らせる町に」の声に応えるためには安定した雇を増やすことが必要。誘致企業が雇用を増やしたときの補助金は、当町では正社員でも非正規でも1人あたり10万円である。鳥取市では正社員30万円、非正規10万円とするなど正社員を増やす支援を行っている。当町でも検討を。

政策財政課長 正規雇用の充実が望ましいが、企業側のニーズに応える必要がある。先進地事例も参考に、検討に入る。

Q2 放課後児童クラブの改善を

質問 当町の放課後児童クラブは、たとえば船津などでは、子どもたちが外で遊ぶのが困難、部屋が十分な広さでない、職員体制も十分でない、また、上九一色地区では未実施である、など、地域ごとに多くの課題がある。国が最近示した、放課後児童クラブの職員(1つのクラブに2人)や面積(児童1人おおむね1・65㎡)などの基準案もふまえ、課題解決を。

福祉推進課長 船津の職員体制は3つのクラブで3人の職員。ほとんど外で遊べない理由は安全性の問題が大きい。未実施の富士ヶ嶺地区の保護者から要望も受けた。いずれの課

一般質問



一般質問者
山下 利夫

題も、国の基準案に従いつつ、利用者の意見、地域事情などをふまえながら、町子ども子育て会議で検討していく。

Q3 精神障害の方への支援強化を

質問 精神障害の方への支援制度は遅れており、要望活動が行われてきた。最近、バス協会が、手帳を提示してのバス運賃割引は、精神障害の方も対象にする方針を決めたのは朗報。しかし電車やタクシーは対象になつておらず、JRやタクシー協会へ引き続き要望を。また、週1回のデイケアの周知と職員体制の強化を。

福祉推進課長 JRやタクシー協会への要望は、富士北麓の自立支援協議会として、今後も地道に行っていく。デイケアの活動や内容は、広報やホームページ、口コミで紹介していく。今年度新たに任用した保健師ができる限り参加していく予定。

Q4 海外からの観光客を受け入れる体制の充実を

質問 海外からの観光客を町全体で受け入れる体制の充実を。たとえば、駅や湖畔などの案内看板ならびに案内パンフレットをよりわかりやすく。また、町民も気軽に参加できる簡単な英会話講座などの実施を。

観光課長 現在、町内の多言語表記の改善強化に向けた調査を行っている。新しいパンフレットの提案を民間の皆様からいただいております。町として支援する。

町長 まずは町民がこの町を誇りに思っていることが第一。英語教育の充実も大事。



4か国語の案内看板

○その他の質問

・地方交付税の算定方法見直しを受け出張所の機能強化を

1 財政基本計画の進め方は

質問 合併から10年が経過し、地方交付税が段階的に減額され、町財政は、2015年度から赤字となり、2021年度からは毎年9億円の赤字が生ずる。基本計画通り実施しても約4・5億円の赤字になるとの厳しい内容である。どのように進めていくのか。

政策財政課長 財政基本計画アクションプランは町が税金を投入してやるべき事業か、事業の内容や実施方法を見直すと効果が向上するか、国・県及び民間で同じような事業をしていないか、受益者が町民の一部に偏っていないかなどから検証した。ただちに実行できるものは進め、町民との合意形成が必要なプランは長期的に取り組む。定期的に進捗状況を検証し進捗管理を行う。

町長 この財政再建に関しては、私自身が本当に重い責任を持っていると受けとめている。この財政基本計画のアクションプランシートを着実に実行することを基本に考え、職員と定期的な会を重ね、その都度チェックを入れ進捗状況を確認しながら取り組んでいきたい。最終的には、町民に参画していただき事業仕分けも考えなければいけないと決意もしている。同時に、企業誘致も私自身が先頭に立って取り組んでいきたい。

2 公共施設白書は

質問 日本のインフラは耐用年数が50年を迎え、更新時期にきているといわれている。町が管理している建物、道路、橋はどのような状況か心配。2月に公共施設白書の作成が完了しているようだが、どのような状況か。

総務課長 現有施設の配置状況や配置目的、利用者数や稼働状況、維持管理費用や老朽化の程度などを分析し課題を明確にするために作成した。主な建物約110施設を調査した結果、既に建築後30年から40年を経過し、今後集中して大規模修繕や建て替えが必要となり多額の費用がかかると予測される施設もあり、本場に必要なものか住民の意見を踏まえ町全体で考えていく。



一般質問者
佐藤 安子

一般質問

3 災害時要援護者支援マニュアルは

質問 2010年12月に一般質問させていた
だき、11年3月に完成した、災害時要援護者
マニュアルについて運用状況は。

福祉推進課長 2011年3月に町と社会福祉協議会で共同作成したが、展開されず手つかずの状況。今後は町と社会福祉協議会を中心に、民生児童委員、消防団、自治会、自主防災会などと協議を進める。また、福祉避難所や防災カードも早急に展開していきたい。



築41年の河口地区公民館

委員会 レポート

常任委員会の活動状況を報告します。

合併支援道路から庁舎エリア への進入道路整備計画は

質問 県の合併支援道路である一般県道鳴沢・富士河口湖線（旧船津・小海線）から庁舎エリアにかけての進入道路の計画について当初の予定と変わって、再検討している様だが、進捗状況は。

総務課長 今年度、多少だが予算計上し旧船津・小海線から町職員駐車場（河口湖消防署西側）に出入りする部分について整備をする予定だ。本格的な入り口ではないが、出来る限り出入りがスムーズになる様、整備する予定で調整を進めている。ただ、抜本的な県道本体からの出入り口については今後、県等と十分な調整をしなければならない。今後の予定についてはまだ調整はしていないが、順次進めていきたい。

再質問 既にこの路線は一部開通している。開通したばかりで通行量は少ないが、全面開通すると通行量が大幅に増えると予想される。この路線から庁舎エリアへの進入道路の整備はできるだけ早く進めたい。県道富士河口湖・富士線（縦道）からの出入りは不便を感じる。大変だが県等との調整を早めにも願いたい。

総務課長 検討する。



町職員駐車場出入口

オリンピックの事前合宿 誘致の対応は

質問 富士山北麓7市町村の体育協会が一体で、オリンピックの事前合宿誘致をすると新聞報道があった。主体は体育協会だが市町村長も顧問として参加する。町としての対応は、

政策財政課長 オリンピック合宿誘致に関しては、町もさまざまな受け入れ態勢の準備を整えつつある。施設面については、本栖の青少年スポーツセンターを核とし、それを波及させて受け入れ態勢を拡充していくということがハード的な部分だ。ソフト面での体制は、所管課等も明確に定まっていないが、オリンピック合宿誘致は町の重要施策なので目標に向かって邁進していきたい。

再質問 サッカー場についてだが、本栖の青少年スポーツセンターの整備については承知している。くぬぎ平は以前、ワールドカップでカメルーンの合宿に活用された実績がある。天然芝で雑草等の問題もあるが、誘致先として考えているか。

政策財政課長 所管課が生涯学習課になるが、維持管理を徹底し、少しでも芝の状況を改善していく様、検討・実施している。その結果を見きわめながら、政策的にどうするのか検討していきたい。



勝山ふれあいセンター

避難所等の備蓄電源 システムの予定は

質問 勝山ふれあいセンターに太陽光による備蓄電源システムを設置するが、現在、公共施設での備蓄電源システムは勝山ふれあいセンターだけなのか。今後の公共施設への設置予定は。

総務課長 今回のソーラー発電による備蓄電源システムだが、昨年度ソーラー発電以外の設備で河口の住民センターに設置され、今回2件目なる。ほかにも町には避難所を兼ねた施設が相当数ある。この整備には費用が相当かさむので、まともでの設置は厳しい状況だが、できるだけ有効な予算を確保する中で、補助金等も活用し今後とも計画的に進めていきたい。

避難所開設訓練を検討

質問 毎年9月に行っている防災訓練は今年も同じようにやるのか。

総務課長 基礎訓練なので昨年とほぼ同じ内容で、町全体で行う。今年はどこか一カ所で避難所開設訓練を実施したいと考えている。

質問 その回答が聞けて良かった。その避難所開設訓練に障がい者も参加できるように検討して欲しい。

総務課長 福祉推進課と調整してこの訓練に障がい者が参加できるようにしたい。

地方公会計制度を検討

質問 国が地方公会計制度を導入するように知事と各市町村長宛てに文書を送付している。特に固定資産台帳の整備が必要だが。

政策財政課長 公会計は27年1月に国からマ



防災訓練

ニユアルが提示されるので検討し移行作業に入る予定。固定資産台帳はまだ着手していない。

LED導入を早急に！

質問 電気料が高くなり早急に進めて欲しい公共施設と街路灯のリース方式によるLED化の進捗を伺う。

政策財政課長 2年前に議論し、本年基礎データ抽出の予算化をした。ここに来て、議会終了後に新規のプレゼンもあり十分検討し報告する。

小立の福祉ゾーン計画は

質問 かなりすばらしい福祉ゾーンができると思うが、国・県の補助金は私が思ったより少ないと感じる。また、特例債を多く使わなければならないようだが、どう考えているのか。

町長 特例債とはいえ、返済しなければならぬものである。特例債をどんどん使うということではなく、抑えたいというのが基本的な考えである。

質問 総額で約3億円となる大規模な工事は、福祉推進課だけで工事の監理は可能か。

福祉推進課長 基本的に工事の監理は設計事務所、他関連の管理は担当課で行う。

生活困窮者自立支援法を問う

質問 生活困窮者自立支援法が施行されるが、生活保護の法律とは切り離して自治体で検討していくべき内容だと考える。施行まで1年を切っているので、町はどういう方向で考えているか、現時点での考えを示していただきたい。

福祉推進課長 いくつも課題がある。観光業等の関係で来てそのまま住み続け、退職する年齢になり現在に至っている方が今回



社協事務所

のケースでも非常に多い。これらも含めて検討したい。

最近のいじめに関する状況

質問 2年程前当町におけるいじめの調査をしたが、その後継続して行っているか。(問題は小さいうちに発見して摘むのが良い。)

学校教育課長 学校、教育委員会でマニュアルを作成しているが、定期的に調査はしていない。学校、教育委員会、福祉関係、児童相談所、地域とタイアップして、学校ごとに対策を練っている。全体的な調査は今後行いたい。

質問 子どもたちがスマホやラインでつながっているので、コミュニケーションはラインで返さないと無視されるという状況がある。愛知県刈谷市は小中高PTA・警察で構成する児童生徒愛護会を組織して地域ルールをつくり成果を上げているので、町も検討してはどうか。

学校教育課長 スマホを利用したラインによる交流やいじめがあることは承知している。管内小中学校には情報がないので、全国的な流れを見ながら校長会等で調査・検討していきたい。

学校の給食に関する事

質問 学校給食に関する放射性物資の調査状況は？

学校教育課長 毎月食材の調査をしてホームページに掲載している。

質問 食物アレルギーの現状と、将来的な環境変化への備えは。

学校教育課長 児童生徒のアレルギーは学校ごとに問題がある。学校、栄養士、教育委員会で調査してアレルギー対策のマニュアルを



上九一色中学校全景

県内でも早い時期につくった。マニュアルにそって対策を練り、定期的に更新をしている。また将来的な対策も考えていきたい。

精進小と上九一色中の現状は

質問 公共施設の約35%が学校関係である。精進小学校と上九一色中学校は何年に建設し、現在の利用状況はどのようになってきているのか。
学校教育課長 精進小学校は校舎を平成2年に、体育館は平成3年に建設した。上九一色中学校は昭和55年に建設し平成14年に耐震改修を行った。利用状況について、体育館は地域の皆さんが利用しているが、校舎は現在利用していない。

インターハイの準備は

質問 インターハイが間近に迫っているが、進捗状況は完璧なのか。
生涯学習課長 48日後にインターハイが迫っている。具体的な進捗状況について、高校の先生方や役場の職員等をスタッフとして教育をしているところである。大きな消波装置は費用もかかり、100%県が拠出し業者も決まった。今は、各関係機関に様々な了解を得る作業をしている。

湖南中の関連工事は

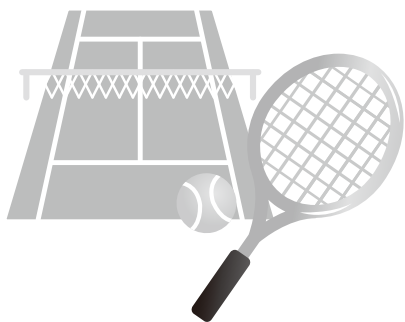
質問 湖南中のテニスコートを校舎の東側に借地して造る計画はどのようになっているのか。

町長 校内にすることが原則であるが、他

のスポーツへの影響を考えると、できるだけ近い場所を借りるということで交渉している。
質問 校舎を解体するとき、アスベストが出たと新聞に報道された。アスベストの処理費用は当初から予算を計上してあったのか。
町長 特別教室棟の煙突解体費用は当初予算に計上し、アスベストは今回わかったため、処理費用を補正予算に組んだ。
質問 町の負担金への影響は。
町長 契約差金も考慮しながら、町への負担を少なくしていくように考えていく。

湖南中のテニスコートは

質問 グランドが狭くなるので校外設置が最良だが、進捗状況は。
町長 折衝も含め進めている。



上九一色簡易水道事業特別 会計補正予算(第1号)

質問 富士ヶ嶺地区の水道使用料310万円が減額になっているが、その理由と内容は。

水道課長 富士ヶ嶺地区の酪農が大雪により被害を受けたことに対する救済と、酪農経営の向上を目指す政策として、平成28年2月までの期間、乳牛、肉牛、養豚、馬、ミニブタの経営をしている使用者の水道料金を減免するものである。

町長 2月の雪害と酪農経営が厳しいこと、また後継者が継承し続けるような対策をする必要がある。さらに平成28年度に水道事業一本化ということも視野に入れながら取り組んだものである。

マンホールトイレの 設置状況は

質問 町内には災害時に使うマンホールトイレが何カ所があるが、設置場所はどこか。またマンホールトイレの組立て方法の周知は。

水道課長 町内の設置場所は、船津、小立、大石、河口の小学校、湖南中学校、町民体育館、中央公民館、勝山さくやホール駐車場の8カ所である。マンホールトイレの組立ては、

説明し、組立てを行った。今年是小立地区の訓練で周知していく。

通学路の安全対策

質問 湖南中学校の西南側の通学路は狭く、生徒は車とのすれ違い時、道端によけている。道路拡幅等の方策はないか。

都市整備課長 現状は一部が非常に狭く、西側が民地、東側が官地、学校用地になっている



養豚たい肥置き場被害

る。土地所有者の協力が得られれば拡幅ができると思う。

水道の有収率と 漏水調査は

質問 水道の有収率は改善しているのか。また調査はどのような方法で行い、成果はどうか。

水道課長 有収率は、平成24年度は64.3%、平成25年度末で65.1%と改善している。漏水調査は、今までとは違う漏水調査者を導入した結果、全地区で54件の漏水箇所を発見して漏水の修理を行った。

合併支援道路の 供用開始は

質問 県道船津小海線は、町役場北側が一部供用開始しているが、今後の予定は。

都市整備課長 用地交渉が難航している箇所がある。県は交渉が終了次第、順次工事を発注する。計画は平成28年を目途に実施予定している。林線から白木里宮線までは、舗装を残した状態で終了している。あと1カ所は、用地交渉がまとまったので、県は工事が終わり次第区域を分けて、供用開始をしていきたいと考えている。

西湖南三湖台登山道 入口のトイレ設置は

質問 本年度当初予算で計上した、西湖南三湖台登山道入り口のトイレの建設の計画と進捗は。

観光係長 建設地が県有地であり、許可が必要である。また国立公園特別地域であるので県、環境省と関係機関と協議をしている。

モニュメントの修理を

質問 大池公園のポプラ並木の中にブロンズ像「湖上の女神」の台座のタイルがはがれている。修理の予定は。

観光課長 台座の修理は、当初予算に計上して今月中に発注し修理をする予定である。

災害時の観光客の避難 マニュアルの整備を

質問 世界遺産の町、観光の町として、災害、有事の際に、国内外のお客様に対して避難の方法等、災害対応マニュアルの整備状況は。

観光課長 富士河口湖の観光客へ安心・安全マニュアルを平成25年度事業として進めたので、今後、各観光協会単位の話し合いで、具体的な行動計画としていく。



「湖上の女神」モニュメント

地籍調査の早期完了を

質問 富士ヶ嶺地区は、合併時より精力的に地籍調査を進めているが、進捗状況は。

農林課長 現地調査は終了し、1調査区のみ認証されている。

他調査区については、地権者の同意が得られないため認証が遅れている。今後、調査委託費、人員確保に努力していく。

河口の鯉の水川、 六首川の堤防整備は

質問 町で管理している鯉の水川と六首川は、堤防がなく風水害で川が埋まった場合、民有地を通って撤去することになるので、どのように考えているか。

都市整備課長 両河川には管理用道路がない。日頃水量が少なくても危険と判断するものは、管理をしながら調査も実施していく。危険度が大きくなったときは、管理用道路の確保も考えなければならない。



町のゆるキャラ「ふじびよん」

世界文化遺産登録後の課題

富士山が、世界文化遺産に登録され1年が経ちました。今思うに、以前とはどのように違うか？変わったか？今考えられることは、富士山の環境保全策として、何をしなければならぬかということですね。

構成資産の考え方の見直しや、それに対する考え方の肉づけです。もう一つは、行政指導により、開発等で自然と観光との調和を考えなければなりません。

観光立町でもあるわが町は、世界遺産という冠をつきました。富士山を永久に「世界の宝物」にしていくには、信仰とともに培われた芸術や文化、環境開発を考えていかねばなりません。ただお客様が多く来るからと喜んでばかりはいられないのです。

資産の価値を高め、考え方の視野を広げて歴史を裏付ける整備をしなければなりません。世界中から訪れるお客様を受け入れることのできる態勢が、登録により整ったかどうかは、訪れてくるお客様自身が評価してくれます。

二つ目は、自然災害に対してどう対応や対策を図るか。夏の最盛期、冬の時期と四季折々の対応を考えなくてはなりません。地震、大雪、大雨、台風、富士山噴火、放射能などへの対応



富士五湖青年会議所
第34代理事長
外川 完一
(浅川)

です。

日本国民自体、3年前の福島原発事故以来、災害に対して敏感に反応するようになり、富士河口湖町を訪れるお客様に対し、安心していただける対応こそ必要だと思えます。

今後、お客様が評価してくれる富士山にどう対応し、世界遺産の冠にふさわしい自然と観光の共生、共存、災害時対応などのすべてのバランスが今後大きなテーマになると考えます。この感覚を町民全体(官民学)でどう養い育むかが課題です。



ラビットを使用した消火訓練

議会見聞録

6月10日の定例議会を初めて傍聴しました。二人の議員の質問、提言に対して町長、各担当部署の長が的確な答弁をしていたと思えました。

傍聴席からは、議長、町長、担当部署の長が正面に見え、質疑応答の様子をよく観察することができました。当日、発言機会のない人は寝ているように見えてしまいました。議員は、後ろ姿なので表情がわかりません。傍聴者が少な

い故かとも思いました。この日の傍聴者は4名でした。

記憶に強く残った質問がありました。観光地である富士河口湖町は、渋滞緩和などで道路整備が順次行われているが、昔からの幹線道路は通行量の極端な減少で寂れていくとの指摘でした。将来を見据えた質問だと思えます。休みの日が合えば傍聴するつもりです。(小立 小池)

議会を傍聴しませんか 次の定例会は9月です

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ傍聴してください。入口には注意事項が掲示されています。

編集後記

6月22日に富士山が世界文化遺産に登録されて1年が経過し、町主催の記念行事が八木崎公園で山梨県知事をはじめ近隣市町村長、関係者も出席して開催されました。改めてイコモスから平成28年2月1日までに提出を求められている環境保全に対する回答へ向けて重要な1年となりますので、ご理解とご協力をお願いします。

また、6月に管内小学校児童が社会見学として議会をはじめ行政の仕事について説明を受けていました。多くのことを学ぶ姿を見て、将来この町を担う子どもたちへ議会議員として何を残していけるのかということを考え、今後も活動を続けていきたいと思えます。(倉沢鶴義)

●議会広報常任委員会

委員長 高山 泰治

副委員長 山下 利夫

委員 流石 恭史

渡辺 武則

渡辺 美雄

中野 貴民

佐藤 安子

渡辺 元春

倉沢 鶴義

